

テクノ・クラシック・オペラショウ (一財)山森記念財団 PRESENTS 「裸の金次郎」全国公演第一弾。

裸の金次郎

二宮金次郎＝尊徳の物語

出演・製作オペラ季節館

(全2幕)

作 / 作曲 / 演出 : 伊勢谷宣仁

プロジェクト・コンダクター

山森 一男 (一財)山森記念財団代表理事 松原勝久 (氷見市の環境を良くする会会長)

氷見市芸術文化館

2025

9月7日(日)

9:40 開演 (氷見市全中学校公演)

15:00 開演 (一般公演)

9/18 東京・板橋公演

2026.6/7 静岡・掛川市公演



姫路市・福田地区人形蔵

主催：一般財団法人山森記念財団 「裸の金次郎」氷見市実行委員会

協力：(公財)大日本報徳社 浅野総一郎翁事績顕彰会 (一社)東京芸術院

後援：氷見市 氷見市教育委員会 氷見商工会議所 氷見市観光協会 JA 氷見市 氷見ライオンズクラブ

氷見青年会議所 氷見ロータリークラブ 氷見中央ロータリークラブ 氷見市小中学校 PTA 連合会

「裸の金次郎」全国公演推進委員：松沢成文 鷺山恭彦 山森一男 (公財)報徳福運社

ひみ
Opera



一般財団法人山森記念財団



記者会見後の出席者とスタッフ



スナップショット





裸の金次郎]公演に当たり…主催者からご挨拶
山森一男 一般財団法人山森記念財団・代表理事

氷見市が「消滅可能性都市」と報道されて10年！
 故・林市長との熱い「復興」議論が、今も鮮明に甦ります。

先日は、堂故先生に、『氷見市創生』の先頭に立って欲しいとお願いをしました。

私も速川村に生まれ氷見に育てていただいた「故郷への恩返し」が天命と心得て、氷見の“誉一山荘”へ移住し、ここを活動拠点として、皆さんと共に「世界に誇れる!」、世界が憧れる!【氷見市創生】に尽力します。

オペラショー「裸の金次郎」公演は、その一助として、幕末に於ける【二宮尊徳翁】の《村おこし》から[仕法]を学び、地域創生に生かそうと企画しました。

「中学生の団体鑑賞」を特筆し、氷見市発進 ⇒【東京公演】～9/18日を第二弾として全国展開を開始します。

皆様のご協力に心より感謝申し上げ主催者のご挨拶と致します。



祝 辞 堂故 茂

富山県土地改良連合会会長

オペラ「裸の金次郎」が山森一男理事長の肝煎で開催されますこと、誠に
 おめでとうございます。

郷土の浅野総一郎翁も大きな影響を受けた二宮尊徳翁の生涯を多くの方が力を合わせて演じられますことは、大変意義深く、市民の一人として心から感謝申し上げます。

私は土地改良や山林協会、猟友会などの仕事をしています。

「農山漁村の活性化」や「ふるさとに根っこのある人づくり」の大切さを痛感するとともに尊徳翁の報徳思想に大いに共感しています。

本日の公演が皆さんの心に残るオペラとなりますよう
 ご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

オペラ製作の経緯、 そしてお礼

伊勢谷宣仁

3年前、山森一男氏に小田原・二宮神社で初めてお目にかかり、二宮金次郎のことを知る。氏から様々なことを教わる。金次郎普及のメッカ掛川の大日本報徳社を訪れ、社長の鷲山恭彦先生の実家に一泊。映画あり、漫画あり、多数の著作物。僕にできることは「生の声で金次郎の考えを届ける」とオペラにし昨秋初演。これを全国で！多くの方、特に山森氏に背中を押され今日の舞台。

作・作曲・美術・演出 / 伊勢谷宣仁

照明：(株) テイク / 山口 功一 振付：荒木 薫 合唱指導：塚原 早苗 練習ピアノ：上嶋 規子

ステージマスター：中野 博之・村井 重樹 桃山 大輝 山口 寛

照明・音響・舞台協力：(株) アートエレクトロン 舞台・衣装製作：オペラ季節館 ABC16

衣装製作協力：(株) ラポージュ

演奏：コンピューター・デジタルサウンド (伊勢谷宣仁)

*シャイン・キャスト

本岩 孝之 (二宮金次郎・尊徳～少年期、壮年期、晩年)

星野 淳 (相馬藩出身、二宮金次郎の一番弟子～金次郎の長女・ふみと結婚)

西谷 衣代 (服部家の使用人、金次郎の二番目の妻)

～ コロス～物語上の多様で重要な役を複数演じる)～

中島 康晴 (小田原藩主、御本木幸吉)

女屋 哲郎 (叔父の万兵衛、照胤和尚、渋沢栄一)

東 浩市 (豊田正作、浅野総一郎)

荻島 寛樹 (家老・服部十郎兵衛、領民、豊田佐吉)

山本 竹佑 (小田原藩の侍・早野、領民、安田善次郎)

長谷川友代 (金次郎の弟の養母、商人、領民、ふみ)

大西 恵代 (金次郎の弟の養母、商人、領民)

*テクニカル・アクター

阿久津 高広 高野 史郎 石川 幸季 尋木 菜々 (商人、領民、カフェ・ファンタジア)

子役◆氷見市立西の杜学園：瀧山慈海 瀧山香蓮 笹野浩生 新堂蒼大

◆氷見市金次郎合唱団

常本 美紀 尾畑 ゆき枝 西岡 真須美 大谷 章子 朝日 祐子 坊 伊都子 坊 真奈美 森本 雅子

向山 千明 指崎 泰利 加納 聖 松木 翔太 川辺 勝治 海下 竜蔵

「裸の金次郎」氷見市実行委員会

実行委員長◆小清水勝則 委員 / 嶋田 茂 松原 勝久 寺下 利宏 赤壁 博之 長澤 知明 山本 浩二 山口 優
 大館 育二 南 勇樹 白石 小百合 指崎 泰利 光澤 智樹 積良 岳

特別協力 五十音順

伊藤 宣良 (氷見市農業協同組合 前組合長) 岩倉 鐘基 (岩倉不動産) 鎌仲 徹也 (氷見市国際交流協会) 岸田 毅 (岸田木材 (株))

許 斌 (合同会社丸進物産) 京田 賢 (氷見商工会議所 前専務理事) 坂本 弘 (氷見ユネスコ協会) 堂故 茂 (元氷見市長)

徳前 紀和 (富山県立氷見高等学校) 寺下 利宏 (氷見商工会議所) 永原 拓男 (NPO 法人高岡鳩の会) 深田 哲司 (飛騨海洋科学研究所)

松原 勝久 (氷見市観光協会) 南 勇樹 (氷見市農業協同組合) 箕輪 裕康 ((株) 建協) 山崎 健 (浅野総一郎翁事績顕彰会)

山森 一男 (山森記念財団)



東京都出身。東京音楽大学声楽科卒。同大オペラコース修了。最近では杉原千景のオペラでもタイトルロールを担うなど、ヴェテランとして大きな存在感。



女屋 哲郎

東京都出身。東京芸術大学同大学院修了。イタリア留学。日伊音楽国際コンクールをはじめミラノ大賞等多数の国際コンクール受賞する等国際的に活躍。



中島 康晴

山形県出身。東京芸術大学同大学院修了。中田喜直記念声楽コンクール、ルーマニア国際声楽コンクール最高位。オペラフェアリイとして多彩に活躍。



西谷 衣代

北海道出身。北海道大学理学部卒の後教育大学へ。文化庁インターンシップ研修員を経て、オペラでは七〇以上の役を担い、常に好評を得ている。



星野 淳

熊本県出身。東京芸術大学同大学院修了。カウンスターター。各種音コンでは常に上位入賞。やまなし大使としても活躍。音楽伝道師。CD多数。



本岩孝之

千葉県出身。東京芸術大学声楽科、同大大学院修了。難関の新国立劇場研修所を修了し、同劇場のオペラに度々出演。文化庁在外研修員としてイタリアで研鑽を積む。



大西 恵代

神奈川県出身。東京芸術大学声楽科。二期会研修所修了。コンセルヴァトワール・ヴァン・ブール賞。文化庁支援日伯一〇〇周年ブラジル公演参加。リサイタル開催で研鑽を重ねる。



長谷川友代

神奈川県出身。武蔵野音楽大学声楽科、同大大学院修了。声楽家である母の影響ですでに多くのオペラの出演を果たし、着実にキャリアを積んでいる。横浜のオペラ団体でも活躍。



山本 竹佑

静岡県出身。国立音楽大学声楽科卒。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトに参加。要請を受けプロの合唱団として、著名な音楽家とも多数の共演。レガートの美しいバリトン。



荻島 寛樹

福岡県出身。東京芸術大学声楽科。クラシック声楽コン2位。宗教曲、第九等のソリストを多数こなす他、合唱の指導者としても定評がある。既にヴェテランの域にあり評価が高い。



東 浩市

阿久津 高広（三重県出身。東宝映像所等で研鑽を積む。テレビ等様々な舞台に）

高野 史郎（熊本県出身。俳優、タレントの指導の他、振付も担う。剣道初段）

振付 荒木 薫：幼少より舞踊一筋。永年NHK紅白歌合戦舞踊部門で主軸として出演の他、著名歌手の振付も。

石川 幸季（愛知県出身。ダンサー、女優としても活躍）

尋木 菜々（福岡県出身。劇団四季に出演の経歴も）



伊勢谷宣仁

◆北海道出身。国立音楽大学卒。日本の主要なオペラ団体の要として文化庁主催公演等々を担う他、海外公演も。世界の約30カ国の舞台芸術を取材・研修。オペラのみならず多様な文化・芸術をコーディネート。演出・作曲作品多数。権威ある多くの賞を主導。昭和音楽大学・同大学院教授を歴任。

オペラ季節館

1991年、オペラショウ「オズの魔法使い」（主催・三越）公演で創設。以後複数の作品をコカコーラ社、新聞社、文化庁等々の主催で全国また、海外でも公演。昨年には有楽町朝日ホール開館40周年でオペラショウ「ラ・ボエム」を6回公演。

去る5月安芸の宮島でオペラ公演。約100余人で活動。

二宮金次郎＝尊徳 (1787-1856)

富士山のふもと小田原市・栢山の生まれ。比較的裕福な農家に生まれるも、洪水等の影響で貧農に。16歳までに両親を失い、残された弟二人を抱え、自家を再興。それを認められ、関東一円の村々の財政再建に次々と臨み、江戸の幕臣にも取り立てられ、「尊徳」の名を拝受。日光の再建中、病に倒れ没す。

第一幕

ものかきこり

第二幕

- ◆本を読む少年金次郎の周りに近代日本をつくった各界の名士が集う。嵐。荒れ果てた田畑に肩を落とす金次郎兄弟。さらに両親も失い、兄弟は離別。
- ◆金次郎は叔父の家。夜な夜なの読書も叱られ、独り立ちの決意。やがて兄弟三人は再び一緒に畑仕事。
- ◆金次郎は懸命な働きで家を再興。その功績が認められ小田原藩家老・服部家の財政立て直しを依頼される。断り切れず引き受ける。服部家では商人たちが滞った貸付金の催促の嵐。使用人の女から借金の要請は、釜で飯を炊くときの薪の節約を例にして～(やがて女は?)
- ◆金次郎は使用人を集め、質素倹約を求める。一汁一菜、絹はだめ、木綿の着物等々。また、「仁・義・礼・智・信」の約束で金の貸し借りも伝授(五常講)。
- ◆五年の歳月で、千両の借財を完済し、三百両の余剰金を出すも、一両たりとも受け取らず、新妻キノの元に帰る。しかし離縁されてしまう。
- ◆家老家の再建に成功した金次郎は今度はなんと小田原藩の再興を要請され妻と共に桜町に赴き実地検分。金次郎が示した、引き受ける条件とは?

- ◆小田原藩の飛地である桜町の再興を引き受けた金次郎は新たな妻・なみを置いて行こうとするが～。
- ◆小田原の領民の見送り。そして領民は桜町の領民と化す。早速領民を集めて、桜町復興の協力を求める。
- ◆半信半疑の領民も畑の開墾、整備に努めるもなかなか成果が得られず、離反する人も現れる。そして新しく赴任してきた豊田正作の妨害にあい、激しくののしり合う。
- ◆自信を失った金次郎を励ます妻。局面を打開しようと豊田に対し一計を講じる。
- ◆村の状況を憂う、女二人。そんな中、金次郎は忽然と姿を消す。金次郎がいなくなって領民は～?
- ◆金次郎は成田山に断食修行をしていたのだ。そこで得たものは、一円融合の理。
- ◆金次郎の存在を再認識した領民は帰村を大歓迎！そしてあの豊田正作は！？、桜町の復興は？
- ◆舞台はファンタジーカフェ。時空を超えて集まった名士たちは金次郎に会い、混沌とした時代を救うために教えを乞いたいという。金次郎の吐いた言葉とは？

◆やがて金次郎は、江戸幕府の幕臣にも登用され、江戸後期、関東一円600の国々を次々と再興。その手法は「報徳仕法」と呼ばれ、後世、各界の人物に多大な影響を与えた！

◆金次郎の影響を受けた近代日本の礎を築いた人物とは～渋沢栄一、安田善次郎、豊田佐吉、御木本幸吉、松下幸之助等、そして氷見市出身の浅野総一郎等錚々たる名士で、現代では土光敏夫、稲盛和夫等々。

一幕

♪二重唱

- 「兄弟、別れのヴォカリーゼ」
- 「万兵衛と金次郎」百姓とは～
- 「使用人・なみと金次郎」～釜を炊き方

二幕

♪二重唱

- 「妻・なみと金次郎、いざ桜町へ」
- 「二人の女の嘆きのヴォカリーゼ」
- 「照胤和尚と金次郎」一円融合

♪合唱「この村は」「さあ、これで!」「村々の復興」